

推進委員ちば

Vol.340

2019.9.

千葉県交通安全活動推進センター



【松戸地域交通安全活動推進委員協議会の活動状況】

7月11日、松戸駅東口周辺において、警察・関係団体と協力し、通行人にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。

令和元年 秋の全国交通安全運動 !!

実施期間 令和元年9月21日(土)から令和元年9月30日(月)まで

スローガン ~身につける 夜道のお守り 反射材~

運動重点

- 1、子供と高齢者の安全な通行の確保
- 2、高齢運転者の交通事故防止
- 3、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 4、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5、飲酒運転の根絶

主唱 千葉県交通安全対策推進委員会

推 進 委 員 協 議 会 の 活 動

(活動報告から抜粋しました。)



習志野

◆夏の交通安全運動キャンペーン

7月10日、京成大久保駅前において、警察・関係団体と協力し、通行人にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



千葉北

◆夏の交通安全運動キャンペーン

7月16日、稲毛区イオン前交差点において、警察・関係団体と協力し、通行人にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



行徳

◆夏の交通安全運動キャンペーン

7月10日、行徳駅前において、警察・関係団体と協力し、通行人にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



船橋

◆シートベルト全席着用キャンペーン

7月10日、県道我孫子線芝山団地入口交差点において、警察・関係団体と協力し、通行車両にチラシや啓発物資を配布して、シートベルトの全席着用を呼び掛けた。



流山

◆夏の交通安全運動キャンペーン

7月17日、江戸川台駅前において、警察・関係団体と協力し、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



浦安

◆自転車安全利用キャンペーン

7月10日、浦安市「ダイエー」周辺において、警察・関係団体と協力し、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



香
取

◆夏の交通安全運動キャンペーン

7月19日、香取市スーパー「ヒーロー」前において、警察・関係団体と協力し、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



佐
倉

◆違法駐車防止キャンペーン

7月22日、佐倉市ユーカリが丘周辺において、警察・関係団体と協力し、駐車している車両に「ご注意ステッカー」を貼付して違法駐車防止を呼び掛けた。



旭

◆交通事故防止キャンペーン

7月24日、旭市「ビックハウス旭」前において、警察・関係団体と協力し、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



銚
子

◆自転車安全利用キャンペーン

7月10日、銚子市スーパー「カスミ」前において、警察・関係団体と協力し、自転車利用者にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



い
す
み

◆交通事故防止キャンペーン

7月9日、大原郵便局前において、警察・関係団体と協力し、買い物客や歩行者にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。



市
原

◆交通事故防止キャンペーン

7月13日、市原市「ユニもちはら台」前において、警察・関係団体と協力し、買い物客にチラシや啓発物資を配布して、交通事故防止を呼び掛けた。

7月末現在の交通事故発生状況

(令和元年7月末)

◆ 県内の交通事故発生状況

区分	総数	前年比
発生件数	9,440	-275
死者数	83(81)	-18(-19)
負傷者数	11,486	-259

※ 死者数欄の()内は発生件数を示す。

◆ 死者数の多い都道府県

順位	区分	死者数	前年比
1	千葉	83	-18
2	神奈川	78	-3
3	愛知	76	-33
4	大阪	70	-4
5	北海道	69	-6
6	埼玉	68	-35
7	東京	61	-11
8	茨城	57	-11
9	兵庫	56	-24
10	静岡	54	-5

○全国の死者数 1,647人
(前年比 -236人、-12.5%)

◆ 死亡事故の特徴

1 事故類型別発生状況

- 事故類型別では、車両相互が33件(40.7%)、車両対歩行者が25件(30.9%)、車両単独が17件(21.0%)、踏切が6件(7.4%)となっている。
(なお、車両相互には自転車関連事故11件が含まれている。)

2 昼夜間別発生状況

- 昼夜別では、昼間が38件(46.9%)、夜間が43件(53.1%)となっている。
- 昼間の類型別では、車両相互が19件(50.0%)、車両単独が9件(23.7%)、車両対歩行者が8件(21.1%)、踏切が2件(5.3%)、また夜間の類型別では、車両対歩行者が17件(39.5%)、車両相互が14件(32.6%)、車両単独が8件(18.6%)踏切が4件(9.3%)となっている。

3 年齢層別死者数

- 高齢者が46人(55.4%)と最も多く、次いで40歳代が11人(13.3%)、30歳代が7人(8.4%)、50歳代及び60～64歳がそれぞれ5人(6.0%)、若者が4人(4.8%)、25歳～29歳が3人(3.6%)、子供が2人(2.4%)となっている。

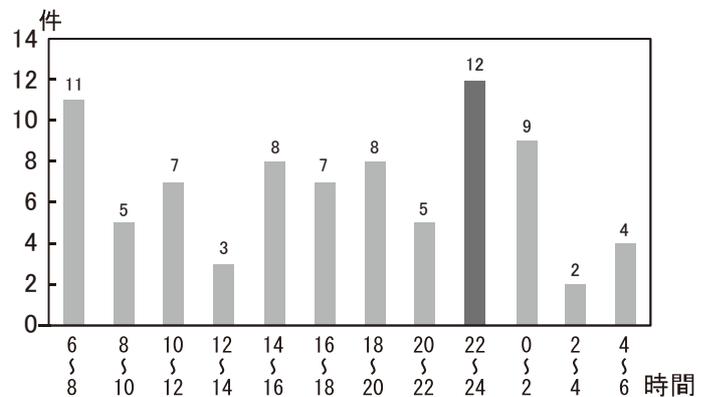
4 状態別死者数

- 歩行中死者が33人(39.8%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が23人(27.7%)、自転車乗用中死者が14人(16.9%)、二輪乗車中死者が12人(14.5%)、その他が1人(1.2%)となっている。
なお、歩行中死者のうち22人(66.7%)が高齢者である。
- 四輪乗車中死者のうちシートベルト非着用者は13人である。

5 法令違反別発生状況

- 前方不注意が18件(22.2%)と最も多く、次いで運転操作不適が17件(21.0%)、安全不確認が16件(19.8%)、信号無視及びその他の違反がそれぞれ6件(7.4%)、動静不注意が5件(6.2%)、一時不停止が4件(4.9%)、通行区分、歩行者妨害及び安全運転義務違反その他がそれぞれ2件(2.5%)、踏切不停止、優先通行妨害及び交差点安全進行義務違反がそれぞれ1件(1.2%)となっている。

6 時間別死亡事故発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会 千葉県交通安全活動推進センター ホームページアドレス http://www.chiba-ankyo.or.jp	〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地 千葉県警察本部交通部運転免許本部内 TEL 043-271-8481
--	---